

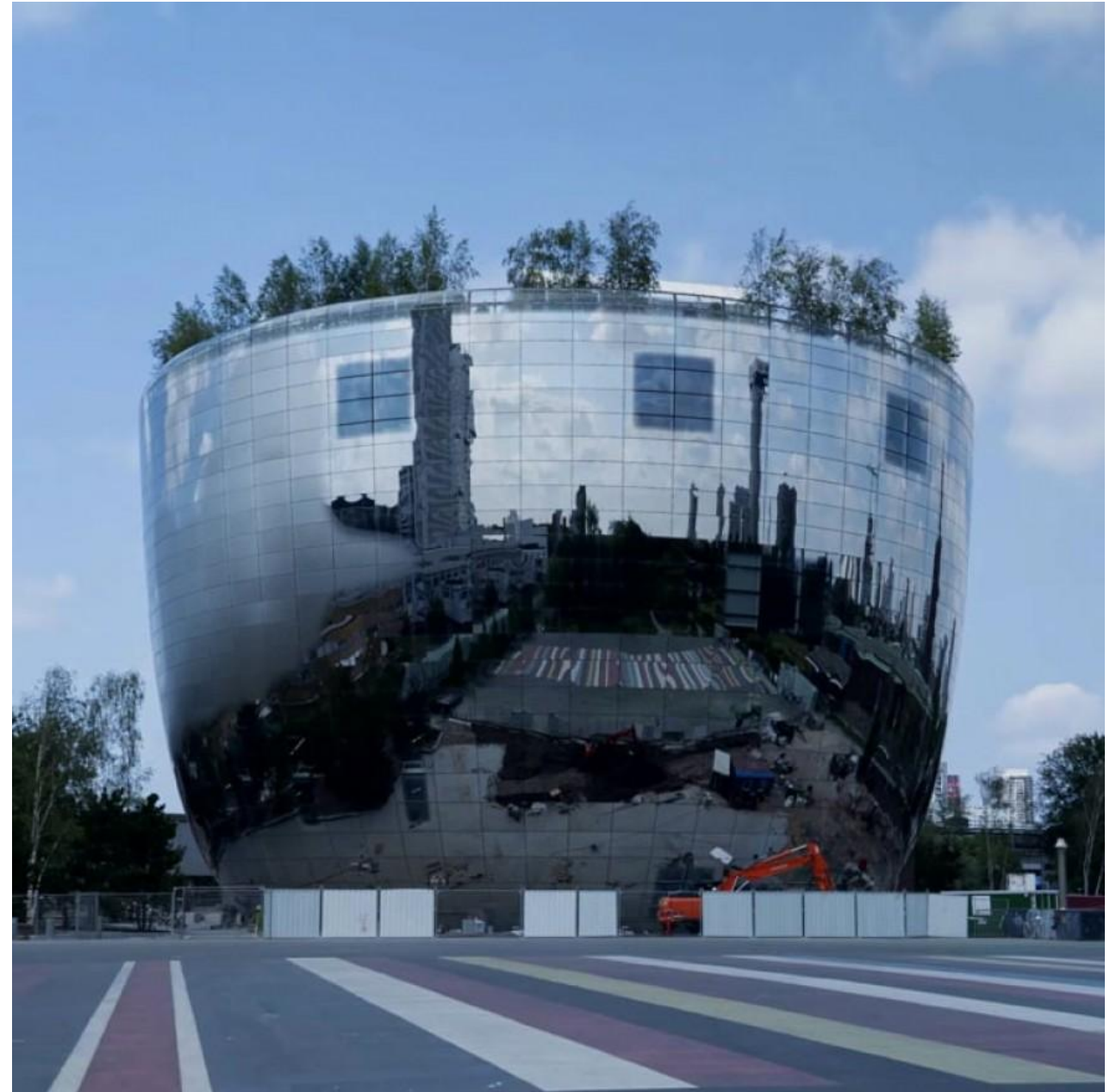
美術館収蔵庫の公開事例について

2026年7月10日

地方独立行政法人愛知県美術館機構 愛知県美術館

デポ・ボイマンス外観

- ・所在地はロッテルダム（オランダ）
- ・ボイマンス美術館の別棟収蔵庫
- ・ボイマンス美術館はブリュージュ『バベルの塔』をはじめ、レンブラント、ゴッホ、ダリなど中世ヨーロッパ美術から近代美術までの作品 **15万件以上**を所蔵している。第二次世界大戦後につくられた本館の地下収蔵庫は何度も浸水するトラブルが発生しており、デポ＝収蔵庫棟の構想は本館の改修工事をきっかけに始まった。





- ・ 本館に隣接するかたちで建設。
- ・ 所蔵品を誰もが自由に閲覧できるような設計・展示構想が練られ、2004年の発案から約 20 年の時を経て、2021年に開館。
- ・ 作品の保管や梱包、保存修復など美術館の裏側を見ることができる世界初の公開型収蔵庫

V & A EAST STOREHOUSE

2025年5月開館。オリンピック
旧会場に建設。誰でも所
蔵品にアクセスできる仕
組むを導入。



- 「Order an Object」
見たい作品を予約して、近くで見ることができる。
- 保存・修復・研究の様子も見学できる。
- ラックに組み入れた形で100以上の小展示を展開。
- 入館無料

東京藝術大学大学美術館 取手収蔵棟



HPより

2024年、東京藝術大学大学美術館 取手収蔵棟が竣工しました。通常、収蔵庫は作品の保存に特化した施設ですが、取手収蔵棟では収蔵品の保管と公開の機能を兼ね備えた「魅せる収蔵庫」を新たに設置しました。2025年より取手館・取手収蔵棟を巡るバックヤードツアーを開催しています。新たな収蔵庫のオープンを契機として、藝大コレクションの魅力とともに、作品を後世へ守り伝える取り組みを広く発信しながら、地域に開かれた美術館を目指します。



宮城県美術館

HPより

本来、収蔵庫は限られた関係者のみが立ち入る場所ですが、宮城県美術館ではリニューアルを機に「見える収蔵庫」を設置しました。収蔵庫の機能を知るとともに、集積としてのコレクションを体感できる、収蔵と展示の境界を越えた新たな施設です。





原美術館ARC

- 開架式収蔵庫に保管している一部の原美術館コレクションを以下の方々に公開
 - ①研究者
 - ②原美術館ARCメンバーシッププログラム会員
 - ③一般の観覧者





HPより

通常非公開の開架式収蔵庫を当館スタッフがご案内いたします。開架式収蔵庫では、展覧会の展示替えと共に一部作品の架け替えを行っています。月ごとにお話する内容も変わりますので、これまでツアーに参加された方にもお楽しみいただける内容です。